



【あいさつ】



ヴィセンテ・ゴンザレス・ロセルタレス
(B I E 事務局長)

議長、神田知事、ならびに万博開催都市および未来の開催都市が一堂に会する第2回連盟会議にご出席の皆様方、ようこそお越しくございました。博覧会国際事務局(B I E)を代表してご挨拶申し上げます。

ご承知のように、万博における最大の受益者は都市です。万博は都市で開催されます。万博は都市を変え、都市の生活に極めて強力なエネルギーを投入します。したがって、世論に万博の重要性と価値を訴えるのには誰が最適かというB I Eの議論に対する答えはたちどころに出てまいります。万博を開催する都市や地域において他にありません。

ハノーバー万博の会期中に打ち出された、A V Eを設立しようという構想が歓迎されたのもそのためです。万博が都市開発の戦略的計画の一部をなすこと、さらには市民が万博で不都合を被るのではなく利益を享受することを確かなものとするため、それぞれの経験を分かち合うことが本会議の目指したものでした。この観点から、A V Eは今後の万博を計画する上で、経験を分かち合える貴重な場です。万博跡地の活用について議論を交わす絶好の場でもあります。都市の中に都市を作り上げるという大きな課題にどう取り組むかについて、様々な情報を得られるというのは素晴らしいことです。万博そのものの成功のみならず万博終了後の成功、すなわち都市が

取り組むべき最も挑戦的な課題のひとつである、万博開催都市における融和と発展をより確かなものにするには、都市間の情報交換が不可欠なのです。

午後改めてこういった点を議論してまいります。午前のプログラムで大いなる成果を収められることを願っております。議長の任期を終えたドイツに祝意を表しますとともに、これから議長を担う日本の成功をお祈りいたします。ありがとうございました。



ヘルベルト・シュマルシュティーク
(ハノーバー上級市長)

神田知事、ここに万博開催都市・地域連盟第2回連盟会議が開催の運びとなったことを非常にうれしく思います。名古屋市と愛知県が6ヶ月間にわたりご尽力された、2005年愛知万博のよき国際コミュニティの一員たらんとして、また万国博覧会というすばらしい経験を共有するため、我々は結集しました。

会議では、過去に開催された万博が地域社会にもたらした効果と、万博の将来について考察するシンポジウムが予定されています。

前回の第1回総会で、万博開催は、とりわけ万博の意義をより高く評価している都市・地域にとって大変魅力的であることが明らかにされました。当然のことながら、問題が身近で現実である者と議論をするのが一番良いことで、開催地元の地方自治体が常にその対象となります。

総会の隔年開催が困難であるため、連盟規約についても議論する必要があります。加盟都市であるテジョンが過去に開催に手を上げてくださったことに感謝いたします。残念な



がら加盟諸都市の市長である皆様方のスケジュール調整が困難なため、万博開催時に連盟総会を開催することを提案いたします。総会と総会の間には、シンポジウムもしくは作業部会を設定するものとします。万博の準備期間における交流により、加盟都市・地域間のつながりが生まれることでしょう。

A V E 設立にご助力くださった皆様にお礼申し上げます。また、素晴らしいアイデアの数々をご提案いただき、ひとかたならぬご協力をいただいた皆様に深くお礼申し上げます。とりわけいつも耳を傾けてくださった B I E には心より感謝いたしております。

また、この会議を準備してくださった愛知県にお礼申し上げます。素晴らしい準備でした。連盟の議長としての任務も、ハノーバーが前回万博開催地と呼ばれることも、これをもって最後となります。次は 2005 年愛知万博の開催地、愛知県に連盟の議長を引き継ぎます。

万博に取り組んでこられた神田知事にお祝い申し上げるとともに、万博開催都市・地域連盟旗の引き渡しをさせていただきます。万博開催都市・地域連盟議長として、知事をはじめスタッフの皆様のご成功を祈念いたします。



神田真秋
(愛知県知事)

ハノーバー市のシュマルシュティーク市長、誠にありがとうございました。ただいま A V E 新議長に就任することになりました、地元愛知県知事の神田でございます。皆様、どうぞよろしくお祈りを申し上げます。

また、メンバーの皆様方には、ようこそ

こ愛知県、そして愛知万博へお越しいただきました。心から皆様方を改めて歓迎申し上げます。心から皆様方を改めて歓迎申し上げます。

万博開催都市・地域連盟は、2000 年のハノーバー万博の閉幕に近い 10 月、代表が集まりまして設立されたものです。私もその当時のメンバーの一員として、この設立にかかわり、賛同したものでございまして、今日のこの会が愛知県で開かれることを、大変うれしく思っている一人でございます。

その後、ご承知のとおりですが、第 1 回はスペインのセビリアで、19 の都市を集めて開催されました。今回は、そのセビリアを上回る 25 の都市、地域のご参加をいただいたところでございます。世界の皆様方の、この万博に対する関心の高さ、あるいは積極性、そんなものをひしひしと感じておりまして、この点についても感謝を申し上げたいと思います。

さて、私どもの愛知万博ですが、入場目標は 1500 万人ということでスタートしたところです。けれども、おかげさまで、もうすでに 2100 万人を超える方にご来場をいただいております。大変盛況のうちに最終幕を迎えているところです。これも、各国の皆様方のご支援とご協力の結果であります。明日は、この博覧会の会場視察をしていただけないことですので、どうかこの愛知万博最終盤の姿をつぶさにごらんいただき、またお楽しみいただきたいと思っております。

さて、今回の第 2 回の連盟会議であります。ただいまの総会をはじめ、午後のシンポジウム、そして、A V E 交流レセプションなど、充実した盛りだくさんのプログラムを用意いたしております。どうか皆様方には、市民参加など、博覧会の新しい在り方、あるいは、博覧会開催後の地域づくりの在り方など、活発なご議論をいただきたいと思っております。そしてその議論を通じて、このメンバー相互の連携、あるいは万博に対する市民の皆様方の理解促進、あるいは今後万博を開催するであろう各都市・地域への支援、サポートを大いに期待する次第であります。

また、この総会でも、A V E の果たすべき役割などについて、議論をいただければ、ありがたいと思っております。



最後になりましたけれども、この会議を実
りの多い成果の上がる、そんな会議にしたい
と思っておりますので、ご協力、ご理解を心
からお願いを申し上げ、私のあいさつとさせ
ていただきます。ありがとうございました。